



女性が耀く社会の実現をめざして

みやけ府議 府民文化常任委員会で質問



▲府民文化常任委員会で質問する みやけ府議

三宅府議は3月14日、所属の府民文化常任委員会において府関係理事者に対し以下の質問を行いました。その主な質疑の概要をご報告します。詳しくは、大阪府議会ホームページ『議会インターネット中継』より動画を配信しておりますのでご覧ください。

ドーンセンターの女性相談事業について

Q 本年4月、女性の職業生活を応援する「女性活躍推進法」が施行されることになった。今後、ドーンセンターにおいて就労にかかる相談も含め増加するのではないかと。具体的な対応は。

A 来年度7月から平日の電話相談を20時から21時まで1時間延長する。また、女性弁護士による月1回の法律相談を新たに実施。就業や子育てなどの相談へも他の相談機関とのネットワーク化をはかり、ワンストップで対応できる体制を新たに構築する。

イクボスの育成普及について

Q 組織のトップ自らが部下の育児やキャリアを応援し、自身も仕事と私生活を両立する、いわゆる「イクボス」が注目されている。「イクボス」が増えない限り「イクメン」も増えない。女性が働きやすい職場は、イコール男性が働きやすい職場であり、社員全体が働きやすくなれば、企業の業績アップや成長に直結する。職場の意識改革や環境整備に取り組む企業を増やしていくことが必要と考えるがどうか。

A 府では、昨年、「OSAKA女性活躍推進会議」を立ち上げ、産官学協働で、働き方の見直しや職場の労働環境の整備など、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んできた。今後、会議の構成団体と連携しながら、セミナー等で企業紹介を行い、イクボスの育成に取り組む企業を増やし、男女が共にあらゆる分野で活躍できる社会の実現に向け取り組んでいく。

「御堂筋イルミネーション事業」と宿泊税について 知事質問

三宅府議 Q 御堂筋イルミネーション事業に対する企業等からの協賛金が減少しているため、知事は、この事業に宿泊税の財源を充てると発言しているが、導入を決めれば、民間企業からの協賛金が激減することを危惧する。知事自らが沿道企業をはじめ応援団を増やす努力をするのが先決ではないか。

松井知事 A 引き続き、私自らが経済界や企業に直接働きかけ、応援団を増やしていく。将来にわたって、御堂筋イルミネーション事業を継続し、発展していけるよう今後そのあり方を検討する。



活動フォト・レポート

▼府立病院の不適切会計で知事に「申し入れ書」を手渡した(3月24日)



▲「東淀川ひまわりグループ」が区社協に車いすを贈呈。左端が同グループ顧問の三宅府議(3月25日)

▼「神崎川クリーンキャンペーン」に参加 地元参加者を前にあいさつ(3月27日)



大阪府議会議員

三宅 史明
みやけ 史明

- プロフィール
- 公明党機関紙推進副委員長
- 〃 大阪府本部副代表
- 〃 東淀川支部長
- 〃 大阪府議団・団長

- ・昭和29年9月大阪市生まれ
- ・上宮高校、創価大学法学部卒業
- ・東京都世田谷区役所、大阪府庁勤務を経て、平成7年大阪府議会議員選挙初当選、現6期
- ・区内北江口2丁目在住

●みやけ史明 府政相談事務所

お役に立ちます。お気軽にご相談を。

〒533-0013
 大阪市東淀川区豊里6-29-7 久ービル7F
 TEL 06-6370-1135
 FAX 06-6370-2257
 (平日:9:00~17:00)

